

2018年度 事業報告

1. 運営に関する会合

(1) 第29回定時総会

2018年5月18日(金) 中央電気倶楽部にて開催

第1号議案	2017年度事業報告
第2号議案	2017年度収支決算報告
第3号議案	役員を選任
第4号議案	2018年度事業計画案
第5号議案	2018年度収支予算案

(2) 役員会 4/6, 7/13, 10/12, 1/18 の4回, 企画運営会議1回, 関西支部賞選考委員会1回等を開催し, 事業遂行上の必要事項について審議, 決定した。

2. 調査研究委員会

(1) 高圧受電設備のBCP対策に関する調査・研究委員会 [委託・新規]

近年, 地震や台風, 大雨等の自然災害や電気事故が発生した場合でも重要なシステムは停止しない, あるいは停止した場合でも早期に復旧させるBCP(Business Continuity Plan: 事業継続計画)の策定が求められつつある。

本委員会では, 高圧受電設備において「系統停電時の被害の影響を小さくする」, 「需要家構内の事故を発生させない」という需要家側の被害の低減に加えて, 「系統への波及事故を発生させない」という社会に与える被害の低減に資することも目的として調査・研究を行っている。

2018年度は, 広義のBCPの概念から施設建物におけるBCP対策, 電気設備におけるBCP対策, 高圧受電設備におけるBCP対策を調査し, 個別需要家さまへの実態調査アンケートの実施・集計を行った。

2019年度も引き続きBCP対策に関する調査・研究, アンケートの分析等を行う予定である。

委員長: 米津大吾

副委員長: 見市知昭

主査: 川合満男

委員: 森下雅也, 石田 豊, 藤田直丈, 高田裕子, 岡野康裕, 川田隆之, 石松康治, 矢野 剛, 仲宗根訓, 山崎英喜, 丸尾竜一, 伴海 誠, 原 大輔, 杉田 智, 大石美智男, 大西弘造, 村田崇浩

オブザーバ: 益尾和彦, 古田恭三, 藤岡哲光, 三浦光城, 富田有修, 岸 淳一

事務局: 尾崎 恵

期間: 2018.4 ~ 2019.3

開催: 委員会7回, 合同WG1回

(2) 電気設備基礎技術の継承委員会 [自主・継続]

本委員会は2002年より電気設備に関する基礎技術について、「継承すべき技術とは」という観点からさまざまなテーマに取り組み、年1回の講習会を通じ発信してきた。2018年度は電気設備におけるノイズの問題に取り組み、「ノイズって何？」というテーマで2019年4月に講習会を開催した。本年度も引き続き、基礎技術からテーマを設定し取り組んでいきたい。

また、一方では、新任の営業マンを対象とした「(仮称)電気設備とその関連設備についての基礎知識」というテーマでの研修会開催のニーズもあり、このような新たな活動にも取り組んでみたい。

さらに、過去のテーマへの再取り組みということも考えたい。改めて20年近くの活動を見直し、本委員会の原点に立ち戻って、「基礎技術の継承」において本委員会の活動が今後どうあるべきかを考えることも必要な時期ではないかと思う。

委員長： 井手洋一

主 査： 塩田博明

委 員： 佐伯惟大，関本芳孝，伊佐 弘，矢野 剛，近藤直人，樋口要一，
益尾和彦，桑村和男，井上善和，伊藤昌明

オブザーバ： 中村史朗，原 武久

幹 事： 小倉良友，山口 博

期 間： 2018.4 ～ 2019.3

開 催： 委員会9回

(3) フォーラム関西 [自主・継続]

支部活動の中で特に若手電気設備技術者を対象とした勉強会、交流会を目的として2003年4月に設置し、数々の技術テーマによる勉強会や、公開研修会、見学会を行っている。

2018年度は、4月に「関西電力(株)蹴上発電所」の見学会を開催し、蹴上発電所は水力発電事業発祥地だけでなく、京都の復興の礎となっていることが良く解った。更に、10月の講演会「建築電気設備に関する仕事—学生と企業の交流会—」では、フォーラム関西の委員が中心となり講師を勤めるとともに、講演会後の交流会に参加し、学生との活発な交流を行なった。

今後も、プレゼンテーションや情報活用能力向上のスキルアップ活動を加えて、引き続き開催していく予定である。

委員長： 種田 裕

幹事委員： 丸尾彰秀，森田祐志，川田隆之

運営委員： 山崎英喜，相原竜介，北村 進，亀山一久，石松康治，松本康裕

メンバー： 藤田直丈，牛之浜哲也，小林賢司，本郷紀沖，瀬川 淳，米津大吾，
辻村幸一郎，矢野 剛，原 達也，川合満男，戸松孝治，本田準士

オブザーバ： 浅田信行，三浦光城，小倉良友

幹 事： 尾崎 恵

期 間： 2018.4 ～ 2019.3

開 催： 見学会1回

(4) 経済性と環境を考慮した電線ケーブルの最適導体サイズに関する

調査委員会〔委託・継続〕

「メガソーラー発電所構内配線への ECSO(電線太径化)適用」のテーマ(4年目:最終年)について、前年度に作成したアルゴリズムをもとに、ソフト開発業者を使って「現場適用型計算ソフト」の英文版(導体サイズは IEC に準拠)を完成させる。完成したソフトは日本電線工業会のホームページに掲載するとともに、CD版を作成して海外に向け PR・発信する予定である。

また、2019年度から、新規テーマの「ビル・工場内配線への ECSO 適用効果の「見える化」」をスタートさせる。企業においては、設備投資実施後にその効果をトレースすることになる。そのため、ECSO 適用後において、省エネ効果(kWh)、CO₂削減効果(CO₂-kg)及びピーク電力低減効果(kW)を確認するための「モニタリングシステム(効果の見える化)」の開発が必須であり、その開発は2019~2021年(3年間)かけて、別途に「共同研究」の新規テーマとして進める予定である。

委員長： 益尾和彦

副委員長： 原 武久，北里敬輔

主 査： 矢野 剛

委 員： 相原竜介，大澤勝志，北村 進，久米伸一，酒田尚志，瀬川 淳，
谷本顕一郎，辻村幸一郎，松江 正，畑 義幸，深尾和正，
本郷紀沖，山崎英喜，米津大吾，亀山一久，松本康裕，東川善文

オブザーバー： 北川秀樹

事務局： 山口 博

期 間： 2018.4 ~ 2019.3

開 催： 委員会 2 回

3. 講演会 開催 3 回

(1) 記念講演会

「地震による災害ゼロ区域(フロート・シティ)を目指す3次元浮揚装置の研究について」

日時・場所： 2018年5月18日 中央電気倶楽部

講 師： 梶原浩一氏，山田 学氏

〔国立研究開発法人 防災科学技術研究所 兵庫耐震工学研究センター〕

参 加 者： 58名

(2) 一般講演会

「建築電気設備に関する仕事-学生と企業の交流会-」

日時・場所： 2018年10月5日 (株)大林組プレゼンテーションルーム

講 師： 川田隆之氏〔栗原工業(株)〕，相原竜介氏〔(株)日建設計〕，
丸尾彰秀氏〔(株)大林組〕，岩田三千子氏〔摂南大学〕，
山崎英喜氏〔パナソニック ES エンジニアリング(株)〕

参 加 者： 45名

「AI・IoTの概要と活用事例について」

日時・場所： 2018年12月4日 中央電気倶楽部
講師： 大石宏一氏 [(株)クロノス]
小檜山智久氏 [(株)日立産機システム]
参加者： 33名

4. 講習会 開催1回

(1) テーマ「高圧受電設備の劣化と余寿命に関する調査・研究」

日時・場所： 2018年9月14日 中央電気倶楽部
講師： 久保幸弘氏 [立命館大学]
杉岡裕人氏 [ダイダン(株)]
龍見年文氏 [住友電設(株)]
菅 崇宏氏 [栗原工業(株)]
村田崇浩氏 [八千代電設工業(株)]
北村 進氏 [(一財)関西電気保安協会]
参加者： 56名

5. 見学会 開催2回

(1) 「パナソニック ミュージアム」

日時： 2018年8月2日
参加者： 25名

(2) 「NEXCO 西日本吹田道路管制センター&イトーキ滋賀工場」

日時： 2018年10月24日
参加者： 26名

6. その他

(1) 電気関係学会関西連合大会主催(4学会)

電気設備学会関西支部は、電気学会、電子情報通信学会および映像情報メディア学会の各関西支部と共同(4学会)で、2018年12月1,2日に大阪工業大学大宮キャンパスにおいて電気関係学会関西連合大会を主催した。

(2) 本部主催講習会への協力

本部が主催する建築設備士(第一次,第二次)受験準備講習会では、第一次講習会を2018年4月21,22日に、また第二次講習会を2018年7月28日に大阪科学技術センターでそれぞれ開催に協力した。

(3) (一社)電気設備学会 関西支部ホームページの運営

関西支部独自のホームページを運用しており継続して充実化を図った。